

伊賀市「事務事業評価」結果総括シート〔2次評価シート〕																				(4)評価実施年度		平成 21 年度							
(1)政策		コード	名称																	(5)評価責任者職名		産業振興部長							
		22	(3)雇用の場が充実しているまちづくり																	(6)評価責任者氏名		半田 泰士							
(2)基本施策		コード	名称																	(7)評価者									
		47	②企業誘致により雇用の場を増やす																	(3)生活課題	47	企業が進出し、雇用の場が増える							
(9)継続・新規 (21,22,23,24)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H22投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)			(17)指標の単位	(18)評価類型	1次評価結果						2次評価						(33)その他の改革改善点について		
					H20 決算額	H21 予算額・補正要求額	H22 要求見込額	人	人件費	(14)指標名	指標の数値				個別評価				(23)総合評価	(24)方向性	(25)1次評価修正有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28)改革改善案修正の有・無	(29)修正点	(30)優先度区分		(31)方向性	(32)方向性の評価について
											(15)20年度(実績)	(16)22年度(目標)			(19)必要性	(20)有効性	(21)達成度	(22)効率性											
継続	653-2	企業立地促進事業	160500	産業振興部商工観光課	246,515	286,097	287,501	2.0	14,400	奨励金等交付対象企業数	9	16	社	I	4	3	3	3	A	現状維持	無	—	—	無	—	1G	f	工場誘致条例による立地企業への約束事であり誘致具現化による予算額拡大は自明の論である。	域内産業の資本が極度に低下している現状に鑑み、内発型起業支援への方向性に転換する必要がある